

令和8年度

千代小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 自信や達成感を感じながら基礎・基本を身に付けることのできる授業の実施
- 言語活動を充実させ、思考力や表現力を高める学習指導の工夫

校長

榎納 哲也

学力向上推進員

小川 江里

【各校の取組状況の把握について】

校内研究授業や教員からの実施報告(学力調査結果分析・中間・年度末時)等、様々な機会を捉え、取組み状況の把握や効果的な指導法を全体で共有する。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対しては、粘り強く取り組む児童が多い。 ●情報を正確に読み取ったり、学んだことと関連付けて考えたりすることに課題がある。	・基礎・基本を身に付け、「できる・分かる・楽しい」と自信をもって学習できる。 ・身に付けた知識・技能を、他の学習や生活に活用することができる。	・漢字・計算練習やスピーチ、音読など、短時間でも児童が楽しみながら基礎・基本の力を身に付けられる活動を工夫し、継続して行う。 ・読書や辞書、一人一台端末等を活用して、語彙を増やす。(図書の紹介・読み聞かせ・コトバト・言葉集めなど) ・家庭学習の出し方や内容を精選する。(復習、自主性を高める、習慣化)			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを伝えたいという意欲は高い。 ●書いたり発表したりすることに苦手意識をもつ児童が少なくない。	・粘り強く考え、自分の感想や考えを進んで表現することができる。 ・自己の考えや表現力を自ら高めようとしている。	・具体物の操作や体験活動、絵や思考ツールなどを効果的に使い、情報を整理したり考えを広げ・深めたりする場を工夫する。 ・ペア・グループ活動や一人一台端末を活用し、伝え合う場を単元の中で効果的に位置付ける。 ・学年に応じた子供新聞の活用や「千代小新聞」発行活動等を継続して行い、読む・書く習慣を身に付けさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○調べ学習やICTを用いた学習、体験活動などに、意欲的に取り組む。 ●自ら課題を見つけて追求していくことに課題がある。	・学習に対する必要感や達成感を感じながら、課題解決に向けて計画を立てたり調べたりして意欲的に取り組むことができる。	・目標や相手・目的意識を明確にし、知的好奇心を高めながら自己決定できる課題を設定する。 ・歌や音読、リーフレットなどの学習成果を異学年や家庭、地域などに発信し、自己の成長を実感することのできる場を工夫する。			